

日本平和学会 2014 年度春季研究大会

2014 年 6 月 21 日 (土) ~22 日 (日)

神奈川大学横浜キャンパス

(<http://www.kanagawa-u.ac.jp/access/yokohama/index.html>)

2014 年度春季研究大会を下記の通り、開催いたします。大会テーマは、「平和主義を取り戻す」。「積極的平和主義」の名のもとに再び軍事化が進められる状況下で、平和研究が平和の論理をどのように再生させることができるのか。グローバルな視点から探ります。部会・分科会とも、充実した報告が多数予定されております。また、開催校のご協力により、懇親会をはじめ、学会全体を通じて学会をより「祝祭的 (convivial)」にするための試みが多数準備されておりますので、奮ってご参加ください。

なお、プログラムの変更や報告レジュメ・報告ペーパーにつきましては、随時学会ホームページ(<http://www.psaj.org>)上にてお知らせいたしますので、こちらをご覧ください。日本平和学会の研究大会・研究集会では、非会員の聴講も可能です。聴講のご案内についても、学会ホームページをご参照ください。

第 21 期としては、初めての研究大会となります。できるだけ多くの会員の皆様にご参加いただき、現況を内破するような活発な議論が展開されることを願っております。

日本平和学会第 21 期会長 佐々木寛

大会へのご出欠、昼食弁当の有無、懇親会へのご出欠などは、同封のハガキにて、**5 月 19 日 (月) 必着**でお知らせください。報告レジュメならびにペーパーは、学会ホームページでダウンロードできます。ご活用ください。レジュメは、5 月 12 日頃から次回大会までの間、ペーパーについては、6 月 9 日頃から大会終了 2 週間後までの間、公開されます。ペーパーは会員向けの公開です。ダウンロードの際にはパスワードを入力してください。パスワードは会員向けに発送された開催案内に記載してあります。

開催趣旨

大会テーマ「平和主義を取り戻す」

2013 年 7 月に衆参両院のねじれが解消されて以降、安倍政権による数の横暴が続いている。それは、特定秘密保護法の強行採決、原発再稼働、普天間米軍基地の県内移設など、民意に沿わない方向に政治が暴走する事態となって現れている。海外との関係でも、トルコやインドへ政府主導で原発輸出を推し進める一方、尖閣諸島、靖国参拝、従軍慰安婦問題をめぐって、日中・日韓間の外交は冷え込んだまま、対話の兆しが見えない。もはや戦後ではなく、戦前の様相を呈しているとも言える。

さらに 2014 年は、「積極的平和主義」という名のもとでの集団的自衛権行使容認に向けた解釈改憲、武器輸出三原則の緩和など、本来の意味での「積極的平和」を捻じ曲げた言説がメディアを通じて一般市民に刷り込まれようとしている。このような緊迫した状況下において、平和研究者の社会的責任を問い直し続ける機会を持つことは非常に重要である。「平和主義」を取り戻す、そのための輿論を起こす場にしていきたい。

日本平和学会第 20 期企画委員長 毛利聡子

6月21日(土)

午前の部 9:00-11:30

<自由論題部会>

○自由論題部会1(単独報告)

報告:小林萌子(京都大学大学院)

「オーストラリアにおけるイギリス核実験の争点化過程-核を巡る社会構造と専門知を問う」

報告:桐谷多恵子(広島市立大学)

「広島・長崎の『復興』-問題提起にかえて」

報告:大井赤亥(東京大学大学院)

「民衆の政治的活性化における反核平和運動の位置-E・P・トムスンと核武装反対運動を通じて」

討論:黒崎輝(福島大学)

司会:佐渡紀子(広島修道大学)

○自由論題部会2(パッケージ企画)

「ルワンダ・ジェノサイドから20年-残虐行為の予防策を検証する」

基調講演: Filip Reyntjens (University of Antwerp)

“Political governance and structural violence in post-genocide Rwanda”

報告:鶴田綾(中京大学)

「『正史』と記憶-ルワンダにおける歴史認識と今後の可能性」

報告:佐々木和之(プロテスタント人文・社会科学大学、ルワンダ)

「ジェノサイド後の共存と和解-ルワンダ農村部の事例から」

報告:米川正子(立教大学)「長期的難民と平和・安全保障-ルワンダ難民の事例から」

司会・討論:武内進一(日本貿易振興機構アジア経済研究所)

※英語部会(通訳なし)

<昼休み 11:30-12:20>

午後の部

<分科会(詳細は別紙参照) 12:20-14:20>

<総会 14:30-15:20>

<部会1/部会2 15:30-18:00>

○部会1(企画委員会・渉外委員会共催企画)「東アジアの平和研究者を結んで」

Roundtable Discussion: Connecting Peace Researchers in East Asia

“People’s Peace in East Asia: Seeking a way of building a transnational linkage”

Chair: Kim Kyung Mook (Chukyo University)

Panelist: Kim Sung Chull (Seoul National University)

Panelist: Chou Muiyi (Peacetime Foundation of Taiwan)

Panelist: Tosa Hiroyuki (Kobe University)

Panelist: Wakabayashi Chiyo (Okinawa University)

※英語部会（通訳なし）

○部会2「人々にとっての平和構築」

報告：モハメド・オマル・アブディン（東京外国語大学大学院）

「上からの政治アプローチの限界-2005年のスーダン包括和平協定を事例に」

報告：松田哲（京都学園大学）

「内戦終結後のスリランカにおける平和構築-現状と課題」

報告：市川ひろみ（京都女子大学）

「平和維持要員からみた平和構築」

討論：勝俣誠（明治学院大学）

司会：戸田真紀子（京都女子大学）

<懇親会 18:30-20:30>

6月22日（日）

午前の部 9:30-12:00

<部会3 / 部会4>

○部会3（企画委員会・「3.11」プロジェクト委員会共催企画）

「3.11以降の平和研究②—学問の社会的責任を問う」

報告：西崎伸子（福島大学）

「研究者・当事者として検証する3.11原発震災と学問の課題」

報告：原口弥生（茨城大学）

「市民運動による政治的機会の形成とその課題-低認知被災地における問題構築」

報告：真崎克彦（甲南大学）

「原発震災から考える知のあり方」

討論：嶋原敦子

司会：蓮井誠一郎（茨城大学）

○部会4「平和研究のフロンティア」

報告：本多善（龍谷大学）

「人の移動からみる平和構築-Tule Lake Camp とディアスポラの歴史から」

報告：勅使川原香世子（明治学院大学）

「「構造的暴力の一部である自分」への気づきと連帯-フィリピンでのエクスポートジャーの事例から」

報告：竹峰誠一郎（明星大学）

「マーシャル諸島発 越境する平和学-3.11の被曝と向き合う平和学を模索して」

討論：松元雅和（関西大学）

討論：堀芳枝（恵泉女学園大学）

司会：柄谷利恵子（関西大学）

<昼休み 12:00-12:30>

午後の部

<分科会（詳細は別紙参照）12:30-14:30>

<開催校企画 14:40-17:10>

「難民の平和学～地域の記憶を召喚する」

報告：藤本俊明（神奈川大学）

「難民の平和学」

報告：石川えり（難民支援協会）

「日本の難民受け入れ～法的、政策的含意」

パネルディスカッション「インドシナ難民の地域（神奈川）への定住過程」

荻村哲朗（神奈川大学）

永瀬一哉（インドシナ難民の明日を考える会）

トルオン・ティ・トゥイ・チャン（外国籍県民 かながわ会議）

【連絡事項】

- ◆受付は3号館入口に設置してあります。3号館は東門のすぐそばにある真新しい建物ですので、キャンパスまでたどりついていただければ、まず迷うことはないはずです。最寄りの白楽駅から大学までの要所に案内係を配置しますのでご安心ください。
- ◆開催校周辺には昼食をとれる食堂があまりありません。両日ともお弁当を注文されるようお勧めします。昼食弁当は、1000円です。同封の出欠はがきにてご予約ください。
- ◆懇親会の会費は、4000円（税込み）です。出欠はがきにてお知らせ下さい。懇親会の会場は、3号館305教室です。
- ◆託児希望の方は、神奈川大学国際人権センター（humanrights.kanagawa@gmail.com）までご連絡ください。詳細については学会ホームページ等で別途お知らせします。
- ◆大会前日の6月20日（金）に、人数限定ですが、横浜中華街エクスカッションを予定しています。詳細については学会ホームページ等で別途お知らせします。
- ◆学会開催校では、報告関連の資料、レジュメ等について、個別の持ち込みによるコピーの依頼には、一切対応できませんので、ご注意ください。
- ◆ご所属やご連絡先の変更届や会費に関するお問い合わせは、次の窓口までお願いします。

【連絡先】 231-0023 神奈川県横浜市中区山下町 194-502

学協会サポートセンター内 日本平和学会係

電話：045-671-1525 FAX：045-671-1935

E-mail：scs@gakkyokai.jp

【連絡先】 開催校担当理事：阿部浩己（あべ こうき）

〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1

神奈川大学横浜キャンパス 24号館 B106 国際人権センター

電話：045-481-5661(内線 2705) FAX: 045-413-0815

Email: humanrights.kanagawa@gmail.com

日本平和学会第21期事務局

〒244-8539 横浜市戸塚区上倉田 1518

明治学院大学国際学部 浪岡研究室

電話：045-863-2228

Email: office@psaj.org